

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅲ－（２）

健康寿命を延ばす取組を推進する

基本的な方向性

高齢期になっても可能な限り介護を必要とせず、健康な心と身体を維持できるよう、健診結果や病歴を踏まえた生活習慣病の早期発見と重症化予防など早期からの健康増進や、加齢に伴い現れる生活機能の低下の予防など、健康寿命の延伸を支援する取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）の達成状況

指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値 による 評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
健康チャレンジリーダー養成者数【累計】	人	96	126	131	136	180	未達成
がん検診の受診率	%	16.1	14.9	16.1	17.3	18.0	未達成
特定健康診査（こくほ特定健診）の受診率	%	34.2	32.6	33.9	36.3 【速報値】	42.0	未達成

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・健康チャレンジ普及啓発事業として各種講座を開催するとともに、フレイルチェック測定会を開催しました。また、東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究である口腔フレイル予防を主としたカムカム教室を開催しました。さらに、介護認定情報等の活用により介護予防効果の検証を行いました。
- ・各種検診や生活習慣病予防に関する教室、未受診者・治療中断者への受診勧奨を実施したほか、内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査及び特定保健指導を実施しました。また、国保データベースシステムを活用した健康課題に関するデータ分析を行いました。
- ・生活保護受給者に健康診査の受診を促すとともに、受診した後の健康状況を訪問などで確認を行い、適切な保健指導を行いました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

・高齢者のフレイルや口腔フレイルなどの解消を図る必要があります。

⇒高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を踏まえながら、健康チャレンジ普及啓発事業では、専門性の高い内容に特化して推進していきます。また、フレイルチェック測定会などの充実を図るとともに、口腔フレイル予防の普及啓発を図ることで、より多くの高齢者に自身の状態に対する気づきと改善に向けた行動を促します。

介護認定情報等の活用により、介護予防効果の検証を行います。

・特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率を向上させる必要があります。

⇒健診実施体制の拡大に向けた見直し、未受診者への受診勧奨等を実施します。特定保健指導はオンライン申込やICT面談など利用しやすい環境を整えます。また、各種検診を受診する必要性を普及啓発するため、国保データベースシステムなどのデータ分析から得られた平塚市の健康課題に対する健康情報を、市民に分かりやすく発信していきます。

・生活保護受給者が日常生活の自立を実現するため、また、年齢を問わず就労を希望する方が社会的・経済的な自立を実現するためには、心身ともに健康である必要があります。

⇒健康管理支援の事業を拡充するとともに、他機関との連携を図ります。

関連する【取組】と（事業）

【地域で楽しく健康長寿に向けたチャレンジ】（一般介護予防事業）

【生活習慣病の早期対応と重症化予防】（健康増進事業）（特定健康診査・特定保健指導事業）（生活保護者自立支援事業）（データ分析に基づいた健康政策事業）